

2020年10月5日

損害保険ジャパン株式会社

『自動走行ロボット専用保険プラン（実証実験向けオーダーメイド型）』の開発

～「安心・安全」な自動走行ロボットの技術進展と実用化をサポート～

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、自動走行ロボット※の実証実験を行う事業者等を対象とした『自動走行ロボット専用保険プラン（実証実験向けオーダーメイド型）』を開発し、10月5日から提供します。

※自律または追尾により無人（公道走行では遠隔監視・操作による）で、歩道・車道・路側帯・歩道等と車道の区別のない道路・私有地等を、歩行者や他のモビリティ等と共存し、低速で走行するロボット。

1. 開発の背景

新型コロナウイルス感染症予防の観点で、物流や施設管理などの分野では、人手を介さない「遠隔・非対面・非接触」の配送ニーズや作業ニーズが高まっており、自動走行ロボットを活用した新たなサービスの早期実現が期待されています。

こうした背景から、自動走行ロボットを用いた自動での配送や消毒、警備などのサービス提供に向けて、集合住宅・市街地・商業施設・工業地帯などの施設内に加え、公道でも自動走行の実証実験が始まっています。それらの実証実験においては、自律走行や遠隔監視操作による「運行リスク」や、配送貨物が破損した際の補償や警備作業中に犯罪者と誤認することによる人格権侵害といった「業務遂行リスク」など、多種多様なリスクへの対応が求められます。

損保ジャパンは、交通事故の削減や中山間部における移動手段確保など、社会課題解決の手段として期待されている自動運転技術開発を支援するため、2016年から自動運転専用保険（実証実験向けオーダーメイド型）を提供し、これまでに全国各地の自動運転車による公道実証実験に参加しています。

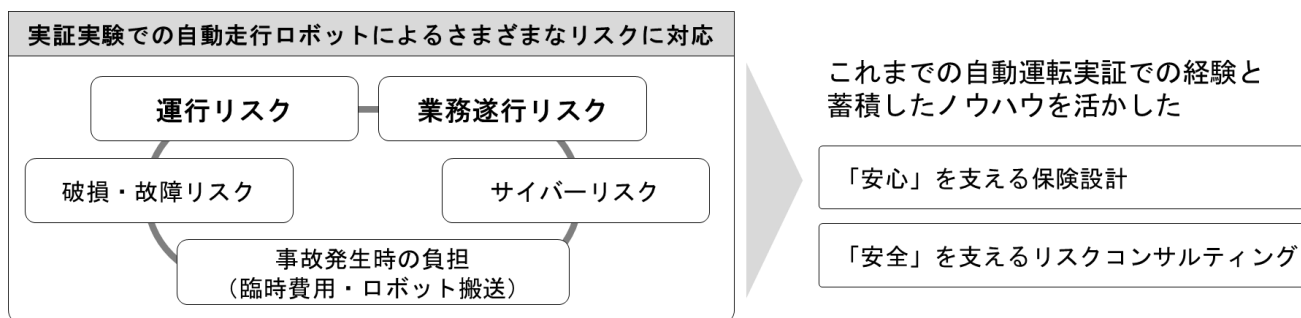
このたび、これまでの実証実験で蓄積してきたリスクアセスメントと、保険商品開発のノウハウを活かし、「安心・安全」な自動走行ロボットの実用化に向けた研究開発を支援するため、専用保険を開発しました。

2. 商品・サービス概要

（1）商品の概要

『自動走行ロボット専用保険プラン（実証実験向けオーダーメイド型）』は、主に、自動走行ロボットによる配送や作業に関わるさまざまリスクに対する包括的な補償で「安心」を支える「運行や業務遂行リスクに備えた専用保険プラン」と、SOMPOリスクマネジメント株式会社（取締役社長：桜井 淳一）のノウハウを活かした「安全」を支える「リスクコンサルティング」から構成されます。実証実験のさまざまな形態に対応するため、オーダーメイド型の商品として、お客様のニーズにあわせた設計が可能です。

■補償・サービスの全体像



(2) 主な補償・サービスの内容

以下の主な補償・サービスのうち、お客さまのニーズにあわせて設計を行います。

区分	補償・サービス	内容
①『安心』の自動走行ロボット専用保険	ア. 運行リスク補償	運行に起因する事故全般を補償
	歩行者等の過失 100% 補償	実験者が法律上の賠償責任を負う場合に、歩行者等の過失部分も含めて治療費等を支払い
	対物事故臨時費用	物損事故発生時の臨時費用（定額）を支払い
	共同開発者への求償を不行使 【独自補償】	実施事業者が運送・消毒・警備事業者である場合に、システム開発事業者との責任関係の紛争を未然防止
	遠隔操作者の刑事責任に対する弁護士費用 【独自補償】 <NEW>	事故で相手方が死傷した場合において、遠隔操作者が刑事責任を追及された場合の弁護士費用を支払い
	イ. 破損・故障リスク補償	機器の破損・故障損害を補償（専用機器の据付ミス・組立ミスなどを含む）
	自動走行ロボット本体	通常の自動車保険では対象外となる、自動走行ロボット本体の故障損害を補償
	専用機器	L i D A Rやミリ波レーダー等の高額な専用機器の破損・故障損害を補償
	ウ. サイバーリスク補償	サイバー攻撃を受けた際の損害を補償
	エ. 業務遂行リスク	ロボットが提供する作業リスク全般を補償
搬送物リスク補償	自動走行ロボットが運ぶ貨物に生じた損害を補償	
誤作動リスク補償	自動走行ロボットの誤作動により生じた損害を補償	
運送・消毒・警備事業者に対する賠償	誤作動時の運送・消毒・警備事業者に対する損害賠償責任（または、それに対応する費用）を補償	
調査費用等の各種費用	事故または誤作動 [※] 時の原因調査費用、再発防止措置費用などを補償 ※配送ロボットによる誤配、警備ロボットによる本来撮影すべき犯罪者の写真が撮影できていない、消毒ロボットの消毒液の誤散布など	
②『安全』のリスクコンサルティング	自動走行実験リスクアセスメントの支援	実証実験開始前に総合的にリスクを洗い出し、評価・対策を実施
	事故発生時の危機管理対応マニュアルの作成支援	万が一の事故発生時における関係者の対応をまとめたマニュアルの作成を支援
③自動運転の実現のための専用サービス	走行不能時の搬送無制限サービス 【独自サービス】 <NEW>	自動走行ロボットが走行不能となった場合に、実施事業者の指定場所まで無償で搬送サービスを提供

(3) 契約者・被保険者（対象となるお客さま）

- ・ 自動走行システムの実証実験を行う企業、大学、研究機関など
- ・ 自動走行システムの導入を検討し、実証実験を行う地方自治体など

(4) 保険始期日

2020年10月5日以降

3. 今後の展開

損保ジャパンは今後も、事故対応やリスクコンサルティングに関するノウハウと IoT などの先進技術を活用した安心・安全に資する商品・サービスを提供し、自動走行ロボットの社会実装に貢献していきます。

以上